

試合番号 : 363		試合会場 : 一関市総合体育館ユードーム				観客数 : 714	
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:40		試合時間 : 01:40		主審 : 津嶋 由香	
						副審 : 佐藤 美里	
プレステージ・インターナショナルアランマーレ		通算 0勝 11敗 ポイント: 1		24 第1セット 26		日立Astemoリヴァーレ	
				19 第2セット 25		通算 5勝 6敗 ポイント: 14	
監督コメント		3		16 第3セット 25		3	
要約レポート				第4セット		監督コメント	
				第5セット		昨日の敗戦から、短い時間の中で切り替えるのが難しい状況の中、スタートからアランマーレの巧みなオフェンスと粘り強いディフェンスに自分たちのやりたいことがなかなかできない展開が続きましたが、なんとか踏ん張れたというゲームでした。第2セットの後半から第3セットにかけてできたことをスタートからどれだけ出せるか。リーグは年内最後となりましてしたが、年明けからのゲームに向けていろいろなことを見直して練習していきたいと思っています。2023年、日立Astemoの応援ありがとうございました。2024年もよろしくお祈りいたします。	

試合番号 : 364		試合会場 : 一関市総合体育館ユードーム				観客数 : 714	
開始時間 : 14:30		終了時間 : 16:33		試合時間 : 02:03		主審 : 伊藤 薫	
						副審 : 桑原 健輔	
PFUブルーキャッツ		通算 4勝 7敗 ポイント: 11		25 第1セット 18		KUROBEアクアフェアリーズ	
				19 第2セット 25		通算 2勝 9敗 ポイント: 9	
監督コメント		3		25 第3セット 19		2	
要約レポート				19 第4セット 25		監督コメント	
				15 第5セット 8		非常に悔しい敗戦となった。ゲームの入りは悪かったが、相手の強力な攻撃陣に対し、徐々にアジャストし、自分たちの成長を感じさせるゲームであった。最後は力負けとなってしまったが本日のゲーム内容をポジティブに捉え、次戦に繋げたい。本大会もたくさんさんの応援をありがとうございました。	

試合番号 : 365		試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館				観客数 : 1,428	
開始時間 : 12:05		終了時間 : 13:28		試合時間 : 01:23		主審 : 吉岡 奈々	
						副審 : 増岡 三佳子	
デンソーエアリービーズ		通算 6勝 5敗 ポイント: 19		25 第1セット 15		東レアローズ	
				25 第2セット 20		通算 4勝 7敗 ポイント: 11	
監督コメント		3		25 第3セット 20		0	
要約レポート				第4セット		監督コメント	
				第5セット		常にデンソーエアリービーズに先行されて、苦しいゲームとなりました。サーブで攻めきれず、レセプションアタックの決定率を下げることでできませんでした。逆に自分たちはサーブで崩されて、我慢して戦うことができませんでした。今週のゲームをしっかり反省して年明けのホームゲームに向けて、しっかりと準備していきます。本日は応援ありがとうございました。	

試合番号 : 366		試合会場 : 岡崎中央総合公園総合体育館				観客数 : 1,428	
開始時間 : 15:05		終了時間 : 16:20		試合時間 : 01:15		主審 : 佐々木 伸子	
						副審 : 内藤 聡美	
NECレッドロケッツ		通算 9勝 2敗 ポイント: 26		25 第1セット 15		岡山シーガルズ	
				25 第2セット 21		通算 2勝 9敗 ポイント: 7	
監督コメント		3		25 第3セット 10		0	
要約レポート				第4セット		監督コメント	
				第5セット		皇后杯を制したNECとの戦いで厳しくなるだろうと予想していたが、特に第3セットに相手がフル回転してきた時に防ぎ、攻め切る力の足りなさを再認識した。個々ができることの可能性を追求していくことが進化につながる。年明けからの試合に向け、頑張っていきたい。2日間に渡り、大変寒中、温かいご声援ありがとうございました。	

V・レギュラーラウンド6連勝中のNECレッドロケッツと連敗を脱したい岡山シーガルズの年内最終戦。第1セット、NECはドルーズと吉賀のアタックで連続ブレイクを奪い、岡山を引き離す。対する岡山は金田にトスを集めたり、松本や岡野を投入したりと流れを変えようとする。岡山は終盤、佐伯が2本のブレイクを決めるなど一歩リードしたが、NECが強い守りと多彩な攻撃でセットを先取した。第2セット、NECがドルーズと山田のブロックなどで優位に序盤を進めるが、岡山は佐伯や小松原のアタックで中盤に追いつく。終盤、NECは塚田のサーブで岡山を崩し、アチャラポンがアタックを決め、連続ブレイクを奪うと、そのリードを守りセットを連取した。岡山も粘りのレシーブや、川島、金田のブロックで会場を沸かせたが、一歩及ばなかった。第3セット、NECはサーブで岡山を崩し、吉賀のレフトからのアタックや山田のクイック、リベロ小島のファインプレーもあり、岡山を引き離してテクニカルタイムアウトを迎える。その後も勢いが止まらず、点差をつけてセットを奪い、今年最後の試合を勝利で飾った。